

第2期大磯町子ども笑顔かがやきプランの時点総括（令和2年度～5年度）

令和2年度から令和6年度までを計画期間とする「第2期大磯町子ども笑顔かがやきプラン」は、毎年度、記載されている事業及び量の見込と確保方策について、進行管理を実施しています。令和4年度には量の見込と確保方策について、中間評価を行い、見込み及び確保方策の修正を行いました。

令和6年度は計画期間最終年度ではありますが、次期計画へとつなげていく必要があることから、現時点（令和2年度～5年度）までの総括を行うものです。

1. 基本方針及び計画の目標値

第2期大磯町子ども笑顔かがやきプランでは、基本方針として①安心して子どもを産み、育てられる子育て環境づくりの促進、②家庭、地域、行政が連携し子どもを育てていく体制づくりの促進、③多様な保育サービスなど子育て支援機能の充実を掲げています。

また、計画の目標値としては、0～14歳人口の割合を評価指標としています。

令和5年度においては、目標値11.5%に対し、10.8%と、0.7ポイント下回る結果となっています。計画期間である令和2年度からみても徐々に減少しています。

	評価指標	単位	現況	R2	R3	R4	R5	R6	目標
実績	0～14歳の人口割合	%	11.5 (H30)	11.1	11.1	10.9	10.8		11.5

2. 計画事業の進行状況

(1) 年度別評価の推移

事業ごとにみると、令和2年度61事業がAであったのに対し、令和4年度は新型コロナウイルス感染症の影響により事業の縮小や中止があったため、57と減少しています。令和5年度は67事業がAとなったのも、その影響がなくなったためと思われる。

事業評価がCであるものについては、子育て短期支援事業の実施に向けた環境整備（保護者が病気になった場合などに一時的に児童を短期間（7日間程度）預かる「ショートステイ」の施設）と「認定こども園関係」となっています。

年 度	評 価			事業数
	A	B	C	
令和2年度	61	33	1	95
令和3年度	56	38	1	95
令和4年度	57	34	4	95
令和5年度	67	25	3	95

【参考】

- A 事業目標を達成した。または達成した事業を継続的に実施できている。
- B 事業目標に達していないが、概ね成果があった。
- C 事業が未着首、または検討段階にある。

(2)基本目標別の事業評価

基本目標ごとの事業評価（A＋B）を見ると、令和５年度の基本目標２・３は、計画開始年度の令和２年度と比較して達成数を上回っており、基本目標１・４・６では同程度の達成となっています。

一方、同期間を比較して達成数を下回った基本目標５の理由は、「認定こども園関係」となっています。

基本目標		R2	R3	R4	R5	項目数
1	子どもたちの生きる力を育む環境づくり	18	9	18	18	19
2	子どもの心豊かな成長を育む環境づくり	13	7	17	16	16
3	子育て家庭にとって安全で安心なまちづくり	22	8	23	23	23
4	地域が支える子育て環境づくり	13	7	13	13	14
5	子育てと仕事の両立支援	12	4	11	11	12
6	心配りが必要な子どもたちへの支援	11	3	11	11	11

3. 時点総括

令和３年度から令和４年度について、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、Ａ評価の減少はありましたが、令和５年度では策定当初（令和２年度）を上回る結果となっています。

しかしながら、評価指標の数値は年々減少傾向がみられる状態です。

次期計画の策定にあたっては、減少要因の把握を行うとともに、指標の設定等の検討が必要です。